

精魂込めて



— 体育祭を終えて —

皆さん、本日の体育祭、本当にお疲れさまでした。

雨天のため思うように練習や実施ができない日が続きました。しかし、そのような状況にあっても与えられた場面でできることに真摯に向き合い、仲間と支え合いながら努力を積み重ねてきました。その日々の歩みが、今日の素晴らしい体育祭を創り上げたのだと思います。

今年の体育祭のスローガンは、「イケイケドンドン ～勢いのまま勝利に突き進め～」でした。私は、この「勢い」とは、単なる元気の良さや活発さだけではないと考えています。失敗を恐れず挑戦する勇気、仲間の頑張りを認め励ます優しさ、そして最後までやり抜こうとする強い意志。そのような一人一人の心の力が結集して生み出されるものこそが本当の意味での「勢い」だと思います。協力する力、団結する力、そして仲間を支え導く力が随所に見られました。それぞれの学年が、その学年らしい持ち味を存分に発揮し、学校全体として一つになって躍動する姿は、大変頼もしく、感動的なものでした。

皆さんが身に付け、発揮した力は、この体育祭だけで終わるものではありません。心に深く刻まれ、これからの学校生活はもとより、将来さまざまな困難や挑戦に向き合うときの大きな支えとなります。体育祭を通して培われた力が、皆さんの中に確かな「魂」として宿ったと思います。どうか、この「イケイケドンドン」の魂をこれからも大切にし、一人では成し得ないことも仲間とともに挑戦しながら、自らの可能性をさらに広げていってください。

保護者の皆様をお願いいたします。本日、生徒たちはそれぞれの立場で精一杯力を尽くし、大きく成長した姿を見せてくれました。ぜひ、ご家庭においても今日の頑張りを認め、温かい言葉を掛けていただければ幸いです。その励ましが、生徒一人一人の自信となり、明日への力となります。

結びに、本日の体育祭開催に当たり、多大なるご支援とご協力を賜りました保護者・地域の皆様にご心より感謝申し上げます。また、生徒を支え、熱心に指導して下さった教職員の皆様にも深く敬意と感謝を表します。

本日は誠に素晴らしい体育祭でした。ありがとうございました。
以上をもちまして、講評といたします。